

令和元年度中山間地域振興協議会の概要について

広島県地域政策局
中山間地域振興課

1 日 時

令和2年2月18日（火） 13:20～13:55

2 場 所

オリエンタルホテル広島 4階「ボールルーム」

3 議 題

令和2年度 中山間地域振興の取組について

4 知事あいさつ（要旨）

中山間地域の振興にあたっては、とりわけ、「人」づくりについては、将来を担う若手リーダーの発掘・育成に重点を置き、人材のプラットフォームを基盤とした広域的なネットワークづくりを進めてきた結果、地域課題の解決に向けた新しい取組が中山間地域全域に広がってきている。

こうした中で、来年度は、現計画の最終年を迎える。次期計画に向けて、本格的な人口減少社会の到来を前に、地域の現状を詳細に把握しつつ、並行して、新たな行政需要への対応を検討していく必要があるものと考えている。

中山間地域が抱える様々な課題を解決していく上で、大きな力となり得るデジタル技術を活用した取組を、皆様と連携しながら着実に進めていきたい。

5 主な意見等

- ・ 5ページの「デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業」について、どういったことが対象になるのか、なかなか思いつかない。ドローンといった技術に大きく期待しているが、こういったものも対象になるのか。
- ・ 5ページの「デジタル技術～事業」について、広域でも活用できるとのことだが、生活交通だけでなく観光という視点で考えると、府中市・世羅町・神石高原町で北備後観光連携協議会を作っているのだから、例えば、空港からそういったエリアへ誘導する交通手段として、こういったものは考えられるのか。
- ・ 4ページの「中山間地域外部人材活用支援事業」について、中山間地域では人手不足で困っている。例えば、介護の分野や中小企業などが厳しいと聞いており、外国人材を確保しようと考えているが、いかにスムーズに外国人を入れていくかが課題となっている。また、今の仕組みでは、条件の悪い地域には外国人材も来てくれないので、アドバイスが欲しい。
- ・ 6ページの「広島県DX推進事業」について、支援対象が“全過疎市町”と限定されており、本市は過疎の指定がないが、人口推移などの現状は類似、またはそれ以上となっていることも踏まえ、事業の制度設計の折には対象の柔軟な運用をお願いしたい。
また、9ページの「過疎法をめぐる動き」についても、現状過疎地域の意見を踏まえた国に対する要望として理解はしているが、過疎地域と類似以上の状況となっている地域があることも理解していただきたい。

- ・ 5 ページの「デジタル技術～事業」について、スマート農業は対象になるのか。また、6 ページの「広島県DX推進事業」の例示で、獣検知センサーが挙げられているが、産業対策的なものは、どちらでみるのか。それぞれの事業の対象を確認したい。
- ・ 5 ページ、6 ページのデジタル技術の活用に力を入れてもらってうれしい。国の Society5.0 など、こういった取組がこれから重要になってくると思っている。そんな中で、単町では何をどうすればいいのか分からないため、外部アドバイザーの派遣については、充実してもらいたい。
- ・ 過疎法に対する認識を皆さんと共に行きたい。過疎対策は半世紀に渡って実施されてきたが、現行法が来年3月末に失効する。まだまだ行政課題は山積していることから、過疎法の存続は重要であると考えている。先日、市議会議員を説得して一緒に、総務省へ要望してきたが、総務省からは国全体が人口減少する中で特定の地域のみを支援対象とする過疎対策は厳しい局面を迎えていると聞いた。地域住民に近い我々が一緒になって危機感を持ち、県と一緒に過疎地域の大切さを国等に対して訴えかけていきたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

以上